



# 京都教区時報


Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2頁 2003年度会計報告

5頁 特定献金について

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
FAX  
075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

## 教会の歩みとしてのミサ

1～3世紀 「屋内ミサ」時代	信者の家で主の日の集会。 聖書朗読、説教、共同祈願(信徒の祈り)、平和のあいさつ、奉納行列、秘跡制定のことば、パンを裂く、主の祈り、拝領。
4～5世紀 「バジリカミサ」時代	バジリカのようなローマ時代の公共建築でのミサ。 ギリシャ語からラテン語へ。キリエの連願。共同祈願すたれる。 平和のあいさつは主の祈りの後に移される。
6～7世紀 「教皇ミサ」時代	ローマ教皇ミサが、模範として各地に採り入れられる。 入祭の歌、あわれみの賛歌、栄光の賛歌、奉納の歌、感謝の賛歌。 教皇の名が全教会で唱えられる。平和の賛歌、拝領の歌。
8～11世紀 「信心ミサ」時代	共同司式がすたれ、個人挙式ミサ。主祭壇は会衆席から遠くなる。 グレゴリオ聖歌、聖歌隊、献香、回心の祈り、信仰宣言。 大小二種類のホスチア、信者はひざまずいて聖体を受ける。
12～16世紀 「演出ミサ」時代	聖体を礼拝する信心。畏敬の念で拝領から遠ざける。 父と子と聖靈のみ名によって、ホスチアとカリスの奉挙、 典文中でひざまずく箇所、聖別の際の鐘、パンのみの拝領。
16～20世紀 (1570以降) 「ルブリカミサ」時代	1570年ローマミサ典礼書の規範版。国語の式文の使用禁止。 トリエント公会議の改革は、グレゴリオ時代への復帰を目指。 以後400年の間、画一化され、固定される。
20世紀 (1965以降) 「暫定ミサ」時代	新しいミサの式次第(国語の使用)。 祭壇のもとでする祈り、聖書朗読は聖書台から。 信仰宣言、共同祈願、典文の黙読廃止、結びの栄唱。
20世紀 (1970以降) 「新しいミサ」の時代	ミサ典礼書の総則。ローマ・ミサ典礼書。 回心、新しい三種の典文、記念唱、 両形態の拝領、お知らせ、派遣の祝福。

註:土屋吉正著「ミサーその意味と歴史」あかし書房より引用

5  
2004

## 2003年度カトリック京都司教区会計収支報告

いつも京都教区のために、信徒の皆さまからのお祈りや経済的援助を賜り、感謝申し上げます。また、各小教区・修道院・学校施設の各位からの、特に財政面での寛大なご協力にも感謝申し上げながら、2003年度カトリック京都司教区の教区本部会計収支報告及び小教区会計収支報告をいたします。

### 〔所轄庁への書類提出義務〕

皆さまご存知の通り、宗教法人法及び租税特別措置法の定めにより、教区本部会計及び小教区会計の、財産目録、貸借対照表、収支計算書を所轄庁である文化庁に、また、収支計算書を所轄税務署にも提出いたしました。昨年は税務調査が行われ、収益事業についてチェックされ、小教区の皆さまにご協力をいたしましたことに感謝し、お礼申し上げます。宗教法人に求められている正しい報告のため、より一層皆さまのご協力をお願いいたします。

### 〔小教区納付金支出（A）について〕

小教区納付金支出（A）として、教会維持献金とミサ聖祭献金との15%をお納め頂いていますが、2003年は37,080千円でした。これは年々減少の傾向にあり、5年前1999年に比べて5,228千円少なくなっています。教区財政に対する寛大なご協力に対して、厚くお礼を申し上げますとともに小教区財政安定のために、より一層のご尽力をお願いいたします。

### 〔小教区納付金支出（B）『司祭給与分』について〕

1999年度より、教区の信徒全員で、司祭給与全体を分担いただく方式に変わりました。納付金（B）についても、皆様のご協力と司祭給与の引下げの実施に伴い、司祭給与相当額での教区財政への圧迫はなくなりました。感謝いたします。

### 〔総合的に〕

- ①2003年度は、経常収入の大幅減収により、「司教座聖堂修築積立金」を積み立てることができず、なお前記繰越金17,294千円を取り崩して、かつ7,593千円の赤字となりました。
  - ②2003年度の収入は、対前年減少傾向にありますが、一部、関係者の協力と努力によって、福音宣教協力金（8.7%）、墓地勘定収入（32.8%）、一万匹の蟻運動（49.4%）は、増加しました。重ねて感謝申し上げます。
  - ③2003年度の支出を見ますと、経常支出では2002年度と比べて4,994千円減少していますが、これは維持管理費と事務管理費の節減によるものです。墓地勘定支出は、8,621千円増加していますが、これは墓苑整備に伴う経費増によるものであります。
  - ④資産支出が本年も多額になっていますが、土地は、区画整理事業による京田辺市への精算金と綾部教会の隣接地の寄付を受けました用地取得に伴うものです。建物勘定は宮津・加悦・登美ヶ丘・津教会の修築に伴うものです。福音宣教基金の1,000万円は篤志家による寄付金を積み立てたものであります。
  - ⑤前述しましたとおり、税務調査が行われましたが、墓地・納骨堂など収入にかかる行為が収益事業に該当するかが争点となりました。そこで聖なる場所での行為であることから科目を「非課税永代使用料収入」・「課税永代使用料収入」を「永代使用料収入」に、「管理料収入」を「墓地祭儀収入」に改め、「その他納骨堂等収入」を削除することにしました。
- 小教区経理処理概要書は改正いたします。
- ⑥最後に、一時期に比べると随分教区財政も落ち着いてきましたが、司祭・信徒の高齢化を考えますと、将来に向けて決して楽観はできないと思います。20歳以上で収入のある方は、収入の3%を目安として、小教区の財政安定のためにも教会維持献金の納入をお願いします。

2004年4月

カトリック京都司教区

本部事務局 北村 善朗

## 京都司教区 2003年度 教区本部会計収支報告書

自2003年1月1日 至2003年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	209,653	I 経 常 収 入	275,554
1 福 音 宣 教 活 動 費	58,736	1 納 付 金 収 入	202,745
祭 儀 費	394	司 教 司 牧 納 付 金	2,977
教 育 養 成 費	9,118	司 祭 司 牧 納 付 金	11,246
諸 委 員 会 活 動 費	1,562	小 教 区 納 付 金 (A)	41,032
教 区 事 業 活 動 費	45,405	小 教 区 納 付 金 (B)	74,493
諸 活 動 団 体 補 助 金	530	小 教 区 納 付 金 (C)	35,273
会 議 費	1,595	小 教 区 納 付 金 (D)	1,913
団 書 費	132	福 音 宣 教 協 力 金	8,607
		建 設 分 担 金 収 入	27,204
2 寄 付 金 支 出	0		
3 特 定 献 金 支 出	13,321	2 寄 付 金 収 入	58,857
		一 般 寄 付 金 収 入	741
4 人 件 費	122,537	収 益 部 門 収 入	28,000
司 祭	50,573	そ の 他 の 寄 付 金	30,116
教 区 職 員	36,691		
小 教 区 職 員	35,273		
5 維 持 管 理 費	4,869	3 特 定 献 金 収 入	13,952
6 事 務 管 理 費	10,190		
II 墓 地 勘 定 支 出	16,698	II 墓 地 勘 定 収 入	9,964
墓 地 管 理 費	2,502	永 代 使 用 料 収 入	3,900
墓 苑 整 備 費	14,196	墓 地 祭 儀 収 入	6,064
III 特 別 勘 定 支 出	8,069	III 特 別 勘 定 収 入	17,130
一 粒 会	1,198	一 粒 会	10,259
ア ジ ア 基 金	930	ア ジ ア 基 金	930
一 万 匹 の 蟻	5,941	一 万 匹 の 蟻	5,941
IV 資 产 支 出	103,209	IV 資 产 運 用 収 入	17,687
土 地	33,553	預 金 利 息 収 入	8,594
建 設 勘 定	52,755	土 地 売 却	1,500
建 物 付 属	814	預 金 取 崩	7,593
構 築 物	3,832		
什 器 備 品	247		
車 輛	2,008		
福 音 宣 教 基 金	10,000		
V 予 備 費	0	V 雜 収 入	0
支 出 計	337,629	収 入 計	320,335
次 期 繰 越 金	0	前 期 繰 越 金	17,294
支 出 合 計	337,629	収 入 合 計	337,629

## 京都司教区 2003年度 小教区会計収支報告書

自2003年1月1日至2003年12月31日

(小教区数: 56)

(単位: 千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経 常 支 出 の 部		経 常 収 入 の 部	
(宣 教 司 牧 費 )	75,268	(信 徒 通 常 献 金 )	261,436
祭 儀 費	16,508	教 会 維 持 献 金	202,808
司 牧 費	3,575	ミ サ 聖 祭 献 金	43,816
委 員 会 活 動 費	6,401	大 祝 日 (特 別) 献 金	14,812
宣 教 広 報 費	3,395	(特 定 献 金 )	19,597
宣 教 育 成 費	1,024	(特 別 献 金 )	113,965
養 成 費	1,966	祭 式 献 金	26,987
青 少 年 育 成 費	3,418	一 般 特 別 献 金	55,217
新 聞 図 書 費	2,965	營 繕 献 金	11,393
会 議 費	811	建 設 献 金	14,076
行 事 費	9,163	墓 地 納 骨 堂 建 設 献 金	0
慶弔 費	4,472	特 別 事 業 献 金	6,292
援 助 費	10,203	(助 成 金 収 入 )	32
諸 団 体 分 担 費	11,367	教 区 助 成 金	17
(特 定 献 金 支 出 )	19,926	福 音 宣 教 協 力 金	15
(納 付 金 支 出 )	161,811	(墓 地・納 骨 堂 等 収 入 )	3,496
教 区 納 付 金 支 出 (A)	37,080	永 代 使 用 料 収 入	490
教 区 納 付 金 支 出 (B)	67,637	墓 地 祭 儀 収 入	3,006
教 区 納 付 金 支 出 (C)	28,949	(補 助 活 動 収 入 )	2,037
教 区 納 付 金 支 出 (D)	1,821	(雜 収 入 )	697
福 音 宣 教 協 力 金 支 出	720	(資 金 運 用 収 入 )	5,022
建 設 分 担 金 支 出	25,604	預 金 利 息 収 入	4,970
(運 営 管 理 費 )	97,484	受 取 配 当 収 入	39
(補 助 活 動 支 出 )	793	信 託 利 子 収 入	13
(墓 地・納 骨 堂 管 理 支 出 )	703		
経 常 支 出 合 計	355,985	経 常 収 入 合 計	406,282
財 务 支 出 の 部		財 务 収 入 の 部	
(固 定 資 産 支 出 )	67,132	(固 定 資 産 収 入 )	28,788
建 物 附 屬 設 備 購 入 支 出	2,951	特 別 目 的 預 金 取 崩 収 入	28,738
構 築 物 購 入 支 出	5,910	電 話 加 入 権 売 却 収 入	50
祭 儀 備 品 購 入 支 出	3,045	(固 定 負 債 収 入 )	0
器 具 備 品 購 入 支 出	2,762	長 期 借 入 金 収 入	0
電 話 加 入 権 取 得 支 出	0	(そ の 他 の 財 務 収 入 )	11,689
特 別 目 的 預 金 積 立 支 出	52,464	(資 金 調 整 勘 定 )	△1,006
(固 定 負 債 支 出 )	0		
長 期 借 入 金 返 済 支 出	0		
(そ の 他 の 財 務 支 出 )	12,773		
(資 金 調 整 勘 定 )	△1,987		
財 务 支 出 合 計	77,918	財 务 収 入 合 計	39,471
支 出 合 計	433,903	収 入 合 計	445,753
次 期 繰 越 金	205,928	前 期 繰 越 金	194,078
合 計	639,831	合 計	639,831

## 特定献金について

皆さま方からいただいている特定献金について、その内容をご説明します。ご協力をよろしくお願いします。

(教区本部事務局)

### ○カトリック児童福祉の日献金

(二月最終日曜日) 子供たちが、自分たちの幸せだけでなく、世界中の子供たちの幸せのために捧げる献金です。中央協議会を通じてローマ教皇に送られました。京都教区では昨年は約二百万円でした。

### ○四旬節愛の献金 (四旬節中)

カリタスジャパンに送られ、海外諸国と日本各地の難民や孤児、貧困、失業、飢餓などに苦しむ人々のために使われます。昨年は、約三百十萬円でした。

### ○聖地のための献金 (聖金曜日)

教皇庁大使館を通じてローマ教皇に送られ、イスラエル、パレスチナ自治区他数多くの巡礼所や聖堂の維持管理、聖地の貧しい兄弟たちのために使われます。昨年は約百万円でした。

### ○世界広報の日献金 (復活節第六主日)

半額は中央協議会に送られ、半額は教区広報事業に使

われます。昨年は約九十三万円でした。

### ○聖ペトロ聖座への献金 (聖ペトロ・聖パウロ使徒の祭日の直前)

(二月最終日曜日) 教皇庁大使館を通じてローマ教皇に教皇の活動のために送られます。昨年は、約百十萬円でした。

### ○世界難民移住移動者の日献金

(九月第四日曜日) 以前は国際協力の日) 帰日・在日外国人、定住難民、新難民、海外移住者などの支援活動のために使われます。半分は教区の国際協力基金に積み立てられます。昨年は約百十六万円でした。

### ○世界宣教の日献金 (十月の最後から二番目の日曜日)

中央協議会を通じてローマ教皇に送られ、世界中の宣教地に援助金として送られます。昨年は約百萬円でした。

### ○宣教地司祭育成の日 (十二月第一日曜日)

宣教地における司祭育成のための援助金として使われます。十%程度中央協議会へ、残りは教区の「神学生・司祭養成協力会(一粒会)」に入られ、途中でテー<sup>マ</sup>を決めての分かち合

いが入りますが、和やかな雰囲気のおかげで、初対面同士でも抵抗



三重地区

## 若い人のための 聖書勉強会

「聖書ってなんだか難しそう…」「大切なことではあるのだけど…」「楽しく聖書を学べたら…」。二月から津教会を会場にして始まったこの勉強会は、そんな様々な思いから生まれました。「若い人のための」とは、年齢のことだけではなく、「聖書の初心者マークをつけた人」も対象としています。指導してくださるのも、サレジオ会の若い神父様です。マルコ福音書を自分たちの信仰生活に照らし合わせながら、少しずつ読んでいきます。

(久居教会 岸 里実)

第一回目のテーマは「洗礼」で、第二回目は「召命」でした。それが神様から受けている恵みを感じながら、その日読んだ福音箇所を自分なりに味わうことができました。今後も月に一回のペースで読んでいく予定です。四月から指導司祭が、辻家直樹神父様から同じくサレジオ会の田村寛神父様になりますが、明るく笑いの絶えない集いですので、ぜひ一度参加してみてください。



なくできました。

第一回目のテーマは「洗礼」で、

第二回目は「召命」でした。それ

ぞれが神様から受けている恵みを

感じながら、その日読んだ福音箇

所を自分なりに味わうことができ

ました。今後も月に一回のペース

で読んでいく予定です。四月から

指導司祭が、辻家直樹神父様から

同じくサレジオ会の田村寛神父様

になりますが、明るく笑いの絶え

ない集いですので、ぜひ一度参加

してみてください。



福音センターニュース

## 養成コース案内（5月～7月）

コース名	日 時	場 所	内 容
祈り I	5/7～9	ノートルダム唐崎	祈る心を育てるために
病人訪問 I	5/28～30	宝塚黙想の家	人間が病んでも、老いても、死に直面しても希望を与えるものは何か。心によりそうかかわり方を沼野尚美氏と共に学びます。
滞日外国人と共に	7/3～4	野外礼拝センター	異質なものを受け入れ、共に歩む教会をめざして。
結婚講座	7/10、17 24	河原町 カトリック会館	聖書と教会の結婚観を通して結婚の意味を学びます。また、社会学的、医学的、心理学的な側面からも結婚生活についてともに学び、考え、分かち合います。

## 痴呆と人間の尊厳



去る3月14日（土）、河原町教会に丸山公子氏（滋賀文化短期大学専任講師）をお招きし、標記のテーマでお話をうかがいました。講演の中で丸山氏は、痴呆の高齢者に対しては、まず「ここにいていいんだ」という安心感を与えること、そして子供扱いせず、その人が生きてきた人生に対する尊敬をもって接することが重要であると語られました。介護では知識や技術以上に、接するときの心が大切であると温かい口調で述べられる氏の言葉に、60名以上の参加者が熱心に聞き入っていました。

### 参加者の声

- ☆ 現在、痴呆の祖母から私はいろいろなことを学び、育てられてきたことを改めて思い出しました。祖母と接する時はこうしてあげよう、何をどうしてあげようと自分が台本を作つて接しようとしていた事に気付かされ、思い通りにいかないところの方がイライラしていましたように思います。お互い成人した者同士、時の流れを楽しむように介護していくものです。
- ☆ 現在、仕事（看護士）をしている上で本当に役立つお話で勇気付けられました。働いている所は痴呆の方々ばかりではないのですが、「心」が一番大切だと…毎日心がけて仕事をしようと思いました。
- ☆ 「人間は尊まれるべき存在として生まれている」という言葉がとても心に残りました。多忙な日々の中で、高齢者のみならず、子供や夫に対しても、時として忘れてしまいがちな大切な気持ちに改めて気づかせていただきました。

### スタッフから

参加者より今後希望するテーマとして、多数のご意見をいただきました（介護の心、痴呆高齢者とのコミュニケーション、痴呆の病気理解、家庭看護の計画方法、介護者のネットワーク作りetc）。センターとして話し合いを重ね、よりよいものを提供できるよう努力したいと思っておりますので、どうぞご期待ください。

問い合わせ ☎604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail [fukuin@kyoto.catholic.jp](mailto:fukuin@kyoto.catholic.jp)



今から10数年前のことです。善きサマリア人会のSrジュリアンの聖書会で、高校生、大学生たちが「あなた方が彼らに食べ物を与えなさい」(マルコ6:37)のみ言葉に出会いました。わたしの娘たちもちょうどそのグループにいたことが、その後の長い歩みを導く最初の鍵でした。娘たちが、そのみ言葉に応えて何か具体的な行動を取りたいと願っていた矢先、スリランカのSrヴァイオレットとの出会いがありました。貧しい村に保育園を建設したいと奔走しておられるシスターの願いに応えて手作り品バザーを開催、その収益をスリランカに送りました。

翌年、わたしは友人たちと、「今わたしたちにできることは何か」を話し合い、聖堂をお借りして、「スリランカの人々のためのコンサート」を開催することにしました。集まった協力金はもちろんスリランカに。この時は何年も続けていくことになるなどとは予想もしていませんでした。

### ★ 実を結んだ「からし種」★

その後、娘たちはそれぞれ成長し、次々と奈良を巣立って行きましたが、毎年送られてくるスリランカからの手紙を通してその窮状を知り、支援の輪は広がっていきました。第三回目のコンサートからは「からし種コンサート」と名づけ、今年は10回目を迎えました。友人らと三人で始めたコンサートも徐々に仲間が増え、手作り品コーナーも定着しています。最初の仲間であったヴァイオリニストの中村恵子さんは六年前に帰天。別れは悲しいものでしたが、天上の彼女の祈りも大きな力です。このコンサートはふだん教会とは縁のない方も毎年楽しみにしてくださり、中には次の年、家族や友だちと一緒に来られる方もいます。コン

心に蒔かれたみ言葉の「種」も、わたしたちが応えなければ成長しない。その種がみごとに実を結んだひとつの例。「あかし」は神と人の共同作業。

柳原 昭美(奈良教会・声楽家)



スリランカの子どもたちと共に

サート後、わたしは待っていてくれる高校時代の同窓生とお茶の時間をもらいます。心やすらぐ楽しいひとときです。

### ★スリランカの人々と共に★

昨年は、わたしの次女も含め五名で初めてスリランカを訪問する機会にめぐまれました。協力金を直接届け、現地でのプログラムを視察するのが目的でしたが、その地を踏み、この目で見、人々と出会い、手をつなぎ、歌い、笑い、食べ、思いっきりその空気を吸ったことが何よりも大きな喜びでした。交わりが深まったとともに、新しい何かが始まったと感じています。スリランカの神父様やシスターの、宗教・民族の違いを超えて地域に開かれ、根ざした活動、そして非常に貧しい子どもたちの輝く笑顔から多くのものを学びました。その反面、日々の重労働、毎日の食物さえこと欠く生活、教育の機会が与えられない子どもたち、仕事もなく家のない人々などに接し、まだまだ支援が必要なことを痛感しました。

み言葉の「種」とそれに続く小さな出会いが、神様の祝福によって成長し、実を結ぶことを体験しました。これから神様はどのように導かれるのでしょうか。み旨にいつも心を開き、応えたいと望んでいます。すべては神様のみ手の中！

お  
知  
ら  
せ

福音セントナーから

◆養成コース▼祈りコース I 7

日～9日 ノートルダム唐崎▼病  
人訪問コース I 28日～30日 宝  
塚默想の家

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読 22日(土)

10時 奥村一郎師 河原町会館六  
階 費用二千五百円(昼食代を含  
む)、持参品 聖書・筆記用具・  
ノート(お申し込みは三日前まで

に)▼聖書講座シリーズ「ルカ福  
音書を読む―同伴者イエス―」12・  
13日村上透磨師、19・20日新井延  
和師、26・27日一場修師

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体  
賛美式・主日のミサ 第一日曜日  
17時半 河原町教会

地区協議会から

◆奈良カトリック協議会▼右近こ  
どもまつり5日(祝・水)奈良県

榛原町沢・高山右近顕彰碑前▼例  
会16日(日)14時 大和郡山教会  
▼正義と平和奈良協議会23日(日)  
14時 登美が丘教会 障害者問題

発題者 村田 優氏  
講座II日(火) 講師 Sr眞淵貞子

ロック・小教区から

◆西院教会▼22日(土) 18時半

根本昭雄師講演会―南アのエイズ  
の実情― 西院教会CSグル  
ープ・フランシスカンズ関西共催  
◆九条教会▼23日(日)ミサ中  
藤堂師の追悼

修道会から

◆宇治カルメル会▼聖書深読黙想  
会29日(土)～30日(日)福田正  
範師▼一般のための黙想19日(水)  
10時～16時「マリア様と共に」奥  
村一郎師

◆聖ドミニコ女子修道院▼みこと  
ばを聽こう22日(土)「聖靈」講  
師 北村善朗師 会費五百円▼申  
込み電話 075(231)201  
7 Sr庄子

教育関係施設から

◆聖母教育センター▼日曜巡  
礼の旅「ザヴィエルと鳥羽街道」

9日(日)13時 近鉄京都線東寺  
駅改札口集合 講演者 三俣俊二  
名譽教授▼聖書講座10日、24日  
(月)▼聖書講座 每週金曜日い  
ずれも講師 Sr安藤慶子 場所  
聖母教育文化センター教室▼聖書

こんなにちはシスター

京都に根を下ろして一八八年  
ショファイユの幼きイエズス会

京都修道院

前列右より、

Sr原口

Sr黒木

Sr桑波田

Sr嘉松

Sr田島

Sr加藤

Sr水間



幼稚園と共生し、園児達の進る  
エネルギーに活気づけられながら  
六十余年も持ちこたえてきた信愛  
修道院は、園舎の老朽化に伴う改  
築を機に、幼稚園から分離・独立  
することとなった。二〇〇二年十  
月、富小路通りに移り住んだ頃、  
園児の可愛い姿もなく、元気な声  
も聞こえない別世界に戸惑いなが  
らも、いつまでも古きよき時代の  
思い出に浸り、失われたものをか  
こってばかりいるわけではなかっ  
た。新しい酒を新しい皮袋に入れ  
るために、新しい宣教への熱意と意  
欲を燃やし始めたのだった。

先ずは修道院の開放から。外観  
程には決して広い空間とはいえない  
が、一～二階の全スペースをフ  
ル回転させて、種々の集いに提供  
することにした。卒園児・在園児  
の保護者の講座を始め、一般の人  
を対象に祈りや分かち合いの集い、  
手話による交流、初心者への講座、  
色々の勉強会、町内会の会議、衣  
類等預かり物の収納などなど。  
会員の活動としては、園長と会  
計の二人は幼稚園勤務、他の六人  
は経験と専門職を活かし、固有な  
使徒職を果している。例えば、手  
話関係、聖書を読む会、教会の土  
曜学校、野宿者支援関係、管区の  
海外宣教の仕事に出向、定期的な  
ボランティア活動等。一人は教区  
の宣教司牧への協力。

共同体の特徴としては、それぞ  
れの使徒職の合間に縫って、院内  
の管理や炊事等の諸業務を分担制  
として皆で関わっていること。  
新体制になつてからうじて一年  
の私たちとは、これまでの幼稚園教  
育一色から多様な使徒職の分野へ  
と境界線を越え、開拓の精神をもつ  
て地域の必要に応えていきたいと  
夢を膨らませている。

諸施設・諸活動から

場所 聖母女学院香里セミナー  
ウス▼ベルナデッタ列聖70周年記念巡礼旅行8月2日～12日▼問合せ075(643)2320

◆京都カナの会▼5月はお休み  
◆京都キリストン研究会▼9日（日）14時 都の聖母奉贊ミサ  
将軍塚

◆子羊会▼黙想会30日（日）聖ヨゼフ本部修道院ヨゼフホール  
◆コーエチエレステ▼第二、第四木曜日 河原町会館六階ホール  
◆在世フランス司教會▼京都兄弟会集会15日（土）13時半 フランシスコの家

都中央理事会23日（日）  
会▼河原町協議会9日（日）▼京

◆おでんとうさんの会▼例会28日  
(金) 西院教会

◆京都力トリック混声合唱団▼練習日9日(日)14時、22日(土)  
19時、いざれも河原町会館六階ホー  
ル

▼集合場所 京都働く人の家(大津教会前)、滋賀働く人の家(大津教会裏)。連絡先090(8207)1831

◆「一万匹の蟻運動」基金報告 累計四一、四〇〇、七二九円 (三月十五日現在)

◆お詫び 三一七号(4月号)9ページ「京都教区宣教司牧評議会規約」は、案の段階のものを掲載しました。お詫びいたします。

◆レジオ・マリエ▼10日(日)13時半 河原町会館六階ホール  
◆心のともしび5月番組案内

▼テレビ主な放送内容

〈2日放送内容〉自らが全盲の青木陽子さんは、中国で日本語訓練学校を自費で開校、無償の授業を通して、障害者自身の意識改革を促し、中国の障害者福祉を充実させるための人材を育てている。▼ラジオテーマ「愛はすべてを望み、

編集部か心

補　　日本教会の歴史と制度  
溝部 倩（仙台司教）

先に、教会の公式要理書としては一九三六年「公教要理」があり、一九六〇年「カトリック公会議の教えに基づき補完された。

一九九二年に「カトリック教会の教え」がローマで（邦訳二〇〇二年）、そして二〇〇三年四月八日本書が発行された。

昨年九月十三日の「新要理書『カトリックの教え』に親しも

入門書ではなく、成人信徒を対象として編集された要理書であり、信徒にとり必読の書である。執筆者は五人

第一部 キリスト者の信仰 岩島忠彦（上智大学教授）

第二部 典礼と秘跡 岡田武夫（東京大司教）

第三部 キリスト者の倫理 浜口吉隆（南山大学教授）

第四部 キリスト者の祈り 他永閑（大阪大司教）

良書紹介

◆カトリック聴覚障害者の会京都  
グループ▼手話教室 13日(木)

四庫全書

編集 新要理編集特別委員会  
監修 日本カトリック司教協議会

新要理編集特別委員会  
日本カトリック中央協議会  
これは、カトリックの教える  
象として編集された要理書であ  
り、信徒にとり必読の書である。  
執筆者は五人

監修 編集  
発行 カトリック中央協議会  
第一部 キリスト者の信仰 岩島忠彦（上智大学教授）  
第二部 典礼と秘跡 岡田武夫（東京大司教）  
第三部 キリスト者の倫理 浜口吉隆（南山大学教授）  
第四部 キリスト者の祈り 池永潤（大阪大司教）  
補 溝部脩（仙台司教）

先に、教会の公式要理書とし  
ては一九三六年「公教要理」が  
あり、一九六〇年「カトリック  
要理」が、一九七二年「カトリック  
公会議の教えに基づき補完され  
た。

一九九二年に「カトリック教  
会の教え」がローマで（邦訳二  
〇〇二年）、そして二〇〇三年  
四月八日本書が発行された。  
昨年九月十三日の「新要理書  
『カトリックの教え』に親しも

へ、「神から人へ、人から神へ」の関り方を経て信仰告白、倫理的応答、祈りの応答へと完結させていく。

③また、神・キリスト・聖霊・教会（と伝統）の中で、伝えられる信仰理解。

この書は日本の教会の信徒としてどうしても、読まなければならぬ書。ただし未だこれは完全無欠の信仰箇条書ではなく、表現解釈その他で論すべきところはあるように思われる。

①問答形式でも教条的でもない  
②新しい問題意識、問題領域か  
ら説き起こしている。  
③とらえ方の異なる四人の執筆  
者により書かれた。

B その特徴は

①それぞれのキャラクフレーズ  
は、一部「理解」、二部「伝  
統」、三部「現代」、四部「実  
存」と言える。(ただしこれ  
は少し説明を要する)

②教えるの把え方は、「人から神

## 大塚司教の 5月のスケジュール

- 2日(日) 舞鶴ブロック司教訪問  
(綾部教会)
- 3日(月) 松坂教会創立50周年  
(ザーン神父司祭金祝  
記念) ミサ10時
- 5日(水) 右近こども祭りミサ  
(大和榛原) 10時
- 8日(土) ↗23日(日) 教皇庁諸  
宗教対話評議会総会  
(ローマ)
- 24日(月) 滋賀学法理事会14時  
社会福祉法人カリタス  
会理事会14時
- 25日(火) 社会福祉法人カリタス  
会理事会14時
- 26日(水) 司教顧問会・責任役員  
会10時
- 27日(木) 共同宣教司牧推進事務  
局会議14時半  
司祭評議会15時半
- 28日(金) 京都学園・京都南学園  
学法理事会14時
- 30日(日) 京都南部地区合同堅信  
式(河原町) 14時
- 31日(月) ↗6月1日(火) 青少  
年委員会研修会

### ◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前  
月の1日までに、教区時報担当宛  
てにご連絡下さい。

### 奈良地区聖書講座

「みことばを生きるために」シ  
リーズ2 テーマ「み旨が地に  
も!」一日常からミサを生きるー

6月11日・12日 今年の目標を  
踏まえて 大塚喜直司教

6月25日・26日 稲 「いのち」その1 西野猛生師

7月9日・10日 稲 「いのち」その2 西野猛生師

7月23日・24日 稲 「いのち」その3 本田哲郎師

9月10日・11日 ゆるし 「負い目」その1 英隆一朗師

9月24日・25日 ゆるし 「負い目」その2 英隆一朗師

10月8日・9日 ゆるし 「負い目」その3 北村善朗師

10月22日・23日 偶像崇拜 「試練」その1 村上透磨師

11月12日・13日 偶像崇拜 「試練」その2 村上透磨師

11月26日・27日 偶像崇拜 「試練」その3 新井延和師

### カトリック青年アジア体験学習 草津教会 新井由郁

第二十四回カトリック青年ア  
ジア体験学習が、八月十六日か  
ら八月二十九日に行われます。

場所はフィリピンのマニラ首都  
圈とケソン州のインファンタで  
す。昨年はマニラのスマム街や  
教会などの見学、農村部のイン  
ファンタでのホームステイ、イ  
ンファンタの高校生との交流な  
どを行いました。

私は昨年この体験学習に参加  
しました。その中から私は大き  
なものを得ました。それは、  
「豊かな心」です。私はホーム  
ステイをする時に大きな不安を  
抱えていました。それは英語が  
苦手であるのでコミュニケーション  
は取れるのかということ、そ  
して何より私を受け入れてくれ  
るかという不安でした。しかし、

そのような問題はすぐに解消さ  
れました。ホストファミリーと  
は不慣れな英語でしたが毎晩遅  
くまで話をしました。そして村

の人ともたくさん話をしました。  
その中で私は彼らの精神的な豊  
かさに気づかされました。村で

う経済的に豊かな国で育った私  
から見れば、不便な生活です。  
けれど、私はこの一週間のホー  
ムステイではほとんど不便さを感  
じなくなりました。なぜなら彼  
らの「豊かな心」に包まれてい  
たからです。

この体験学習では参加者によっ  
て異なる経験をしています。  
一番欠けているものを神様が様々  
なことを通じて与えてくださっ  
ているのだと思います。このよ  
うな体験を皆さんもフィリピン  
で味わってみませんか。

今年の体験学習についての詳  
細は各小教区に送付されている  
案内をご覧下さい。お問い合わせ  
せ、お申込みは京都カトリック  
青年センターまでお願いします。

京都カトリック青年センター  
seinen@kyoto.catholic.jp  
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

電話 ○七五一一六二四六  
FAX ○七五一一六六八五